

令和3年度 第4回 八千浦区地域協議会

次 第

日時：令和3年11月8日（月）午後6時30分～

会場：八千浦交流館はまぐみ 多目的室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 題

【協議事項】

- ・令和3年度地域活動支援事業（3次募集）について

① 提案者による提案説明、質疑応答

提案 No.	事業名	予定時刻
1	八千浦地区健康増進生きがいつくり事業	18:35～18:40
3	西ヶ窪浜公園の環境整備事業	18:40～18:45
2	親子で楽しく運動機能をアップする事業	18:45～18:50

② 委員協議・採決

- ・「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組について

4 その他

5 閉 会

令和3年度 八千浦区 地域活動支援事業(3次募集)提案書受付一覧

No.	事業の 名称	団体等 の名称	複数区に 提案して いる場合	事業費等(単位:千円)		事業内容の概要	担当課所見		
				事業費	補助 希望額		担当課	所見	特記事項
1	八千浦地区健康増進生きがいづくり事業	ドリームメイト		35	34	エアロビクスを通じた地域住民の健康増進と生きがいづくりのため、定例の活動のほか月1回体験会を開催することで、地域住民の親睦と交流、地域の活性化を目指す。	なし		
2	親子で楽しく運動機能をアップする事業	八千浦地区明るい町づくり協議会		261	260	冬季の運動不足解消と親子のふれあいを増やすため、子どもから大人まで楽しめるスポーツであるスラックラインの用具を整備し、体験会を開催する。	教育総務課	課題なし	備品の適正管理の観点から、明確な表示等により事業主体備品と学校備品との区分け管理が適正に行えるのであれば、備品の購入に支障はありません。ただし、事業主体備品の修繕・メンテナンス費用は、事業主体から負担いただくこととなります。
							学校教育課	課題なし	事業の実施に当たっては、学校と十分に連携するとともに、児童の安全に配慮してください。備品を購入する場合は、備品の適正管理の観点から、提案団体所有備品と学校備品との明確な区分け管理が行えるのであれば購入に支障はありません。ただし、提案団体所有備品の修繕や更新費用は提案団体が負担することとなります。
							スポーツ推進課	課題なし	
3	西ヶ窪浜公園の環境整備事業	西ヶ窪浜町内会		314	100	西ヶ窪浜公園の老朽化したブランコを更新し、子どもたちが安心して遊べる環境を整える。また、町内の幼児・児童、及び地域の保育園児の心身の発育や社会性の習得に寄与する。	用地管財課	課題なし	・設置する遊具について、町内会の管理であることが分かるよう立て看板の設置や遊具に表示する等、責任の所在を明確にしてください。 ・提案申請箇所は西ヶ窪浜町内会に遊園地敷地として貸し付けており、提案実施に当たっては、原契約第7条第3項に基づき、事前に当課へ市有財産原状変更承認申請書を提出し、承認を受けてください。
			残額						
	394	差引	0	610	394				

「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組について

令和3年8月

上越市自治・地域振興課

1 概要

- ・第4期地域協議会委員へ依頼した「地域協議会に関する意識調査」について、回答の傾向から改善を要すると考えられるもののうち、市及び各地域協議会として比較的速やかに取り組むことが可能な項目を整理しました。
- ・中長期的な検討を要すると考えられるものについては、回答の内容から課題を整理し、市において令和6年の次期委員改選を目途に検討を継続します。

2 調査結果を受けた取組について

各設問の回答について、「具体的にどのような部分、分野に対するものか」の観点から細分化して整理し、回答の多かった主な項目について、短期的に実施が可能な取組と中長期的に検討を要するものに分類しました。

2-1 短期的に実施が可能な取組**(1) 市が取り組むこと****ア 周知について****ア-1 主な回答**

- ・委員の活動について、仕事や家庭等との両立が難しかった。
- ・協議会の会議を優先させてもらえるよう、職場等に理解を求める工夫をした。
- ・協議会制度の認知度を上げる努力をもっとしてほしい。
- ・自主的審議における地域課題の解決には、地域団体の協力が不可欠

ア-2 市の今後の取組

- ・委員の求めに応じ、委員の勤務先等に委員活動への理解と協力依頼の文書を発出するなど、委員の勤務先等から理解や配慮をいただける環境づくりを行います。
- ・各地域協議会だよりによる周知を継続するほか、委員改選時に実施する市広報の特集記事の掲載に限らず、市ホームページやSNSの活用、活動報告会の毎年開催など、自主的審議等協議会の活動や成果等を市民へ広く周知する方法を検討します。

イ 情報共有について

イー１ 主な回答

- ・他地区の地域課題をもっと情報提供してほしい。
- ・議論を進めるにあたっては、他協議会の事例等を交えたらよいと思う。

イー２ 市の今後の取組

- ・空き家対策の審議から「(仮称)安心ノート」の取組につながった(清里区)など、自主的審議から課題解決の取組につながった事例を、議論の参考として地域協議会へ情報提供します。
- ・各地域協議会における議論の内容、答申を受けての市の対応及び各事務局で把握した情報等を事務局間で情報共有し、自らの区で参考になりそうな事案があれば、地域協議会へ積極的に情報提供します。[下線部は市議会提案を反映]
- ・各事務局が可能な範囲で区内の地域団体等の活動計画を情報収集し、地域協議会へ情報提供します。

ウ 元気事業について

ウー１ 主な回答

- ・元気事業について、取り組み方の基本的なイメージや方法等が委員の多くで共有できなかった。
- ・議論を進める上で、元気事業の活用を想定していなかった。

ウー２ 市の今後の取組

- ・「地域を元気にするために必要な提案事業」の目的の理解や認知度を高めるため、当事業を活用した事例を地域協議会へ周知します。
- ・地域協議会での議論の状況を踏まえ、事務局が当事業の活用の検討を提案します。

(2) 各地域協議会において取組の検討をお願いしたいこと

ア 意見交換について

アー１ 主な回答

- ・協議会が地域課題の解消に向けて取り組むためには、地域の団体等との意見交換や情報共有が必要
- ・課題に気付き、自分たちで解決していかなければならないという思いを住民と協議会委員の両方が共有しながら議論を進めることが必要
- ・日頃から協議会と諸団体との風通しをよくしておくことが必要

アー２ 各地域協議会における今後の取組(案)

地域課題の把握・解消に向けた、住民組織、福祉・スポーツ団体、町内会、地域住民、他の地域協議会等との話合いの一層の活性化 [下線部は市議会提案を反映]

イ 会議運営について

イー１ 主な回答

- ・会議の開催日時が不定期で、予定が立てにくかった。
- ・月１回の会議だけでは取り組むテーマの解消ができない。
- ・毎回１時間程度の協議時間が設定されているが、議論の内容を深めるゆとりがなく時間切れになる。
- ・学習会や先進的地域への研修視察を重視すること。
- ・委員の責務として、全ての議題に対して各委員から必ず発言していただくような会議運営にしてほしい。
- ・協議会に参加してもなかなか発言できなかった。

イー２ 各地域協議会における今後の取組（案）

- ・委員が会議に参加しやすくなるような、開催日時や回数の柔軟な設定
- ・必要に応じて日を改めて協議を行うなど、議論が深まるような運用
- ・自主的審議事項等の議論がより一層深まるよう、議論に必要な情報を得るための視察や研修の積極的な実施
- ・会議の進行を担う会長が全ての委員へ発言を求めるなど、多くの委員に発言の機会を設けるような配慮
- ・分科会やグループワーク等、小規模な話し合いの場を適宜設けるなど、委員が発言しやすい雰囲気づくり

ウ 情報発信について

ウー１ 主な回答

- ・地域住民等から協議会の活動に関心を持ってもらうために「地域協議会だより」を工夫し委員の声などを載せ、より親しみのある内容にしていく。
- ・各地域の取り組み等を定期的に「地域協議会だより」として回覧板でも良いので多数発行し、活動内容を理解してもらう。

ウー２ 各地域協議会における今後の取組（案）

協議会の活動に市民から関心を寄せていただけるように、地域協議会だよりに委員の声や自主的審議の進捗状況等を掲載するなどの工夫

２－２ 市において中長期的に検討を要するもの（主な意見）

- ① 委員資格について
「職場が区内にある人も委員の対象とする」といった委員資格に関するもの
- ② 委員の公募公選について
「立候補者や若い人達の応募が少ない」といった公募公選に関するもの
- ③ 委員の追加・補充選任について
「定員合わせは不要」、「やる気のある人だけで進めるべき」といった委員の追加、補充選任に関するもの

④ 議論の深化・活発化について

「地域団体との意見交換の枠を超えるオブザーバー制度の導入」といった議論の深化や活性化に関するもの

⑤ 報酬の要否について

「自主参加とはいえ、拘束時間に対する補償が少ない」、「委員になりたくない理由の一つとして費用弁償だけでは少なすぎる」といった報酬に関するもの

上記のほか、「地域活動支援事業」に関して、「地域活動支援事業は根本的な見直しの時期」、「同じ団体だけが毎年申請する状況が続く点の改善」、「補助対象事業の統一」、「地域協議会提案枠の創設」などの意見があったことを踏まえ、地域活動支援事業の在り方や運営に関することについて検討していきます。

また、「地域を元気にするために必要な提案事業」の制度に関して、「面倒」、「使いにくい仕組み」といった意見があったことを踏まえ、地域を元気にするために必要な提案事業の制度の仕組みや活用のしやすさについて検討していきます。 [下線部は市議会提案を反映]

➤地域協議会の制度自体の在り方に係るこれらの意見に対しては、市議会総務常任委員会
で予定される提言等を踏まえながら、引き続き市で検討を進めていくこととします。

3 今後の予定

- | | | |
|-------|-----|--|
| 令和3年度 | 8月～ | ・地域協議会に短期的に実施が可能な取組案を示し、各地域協議会で協議 |
| | | ・すぐに取り組めるものから実施するとともに、各地域協議会において取組を検討いただく。 |
| | | ・市で調査結果の分析と中長期的に検討を要する項目の検討を継続 |
| 令和4年度 | | ※市議会総務常任委員会からの提言（予定） |
| | 4月～ | ・市議会からの提言を受けて検討継続 |
| | 年度末 | ・市としての地域協議会の見直し案の確定 |

4 研修について

地域協議会の役割などの研修等が必要と判断される場合は、事務局（総合事務所、まちづくりセンター）との協議をお願いします。

また、委員個人として確認や相談を希望される場合は、事務局へお声がけください。

「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた取組について（各地域協議会において取組を検討する項目）

項目	主な回答	八千浦区の現状	今後の取組	
			市が例示した取組案	八千浦区としての取組（案）
ア 意見交換について	<ul style="list-style-type: none"> 協議会が地域課題の解消に向けて取り組むためには、地域の団体等との意見交換や情報共有が必要 課題に気づき、自分たちで解決していかなければならないという思いを住民と協議会委員の両方が共有しながら議論を進めることが必要 日頃から協議会と諸団体の間の風通しをよくしておくことが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○意見交換会 【前期での実績（平成28年度～令和元年度）】 ・海岸線の道路及び海岸のごみ問題についての意見交換会（平成31年1月24日開催） 対象：八千浦区内6町内会 【今期の実績（令和2年度～）】 ・なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域課題の把握・解消に向けた、住民組織、福祉・スポーツ団体、町内会、地域住民、他の地域協議会等との話合いの一層の活性化 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見交換会（例：町内会長や活動団体）を定例的に開催する（年1回程度）。
イ 会議の運営について	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の開催日時が不定期で、予定が立てにくかった。 ・月1回の会議だけでは取り組むテーマの解消ができない。 ・毎回1時間程度の協議時間が設定されているが、議論の内容を深めるゆとりがなく時間切れになる。 ・学習会や先進的地域への研修視察を重視すること。 ・委員の責務として、全ての議題に対して各委員から必ず発言していただくような会議運営にしてほしい。 ・協議会に参加してもなかなか発言できなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○会議の開催日時など ・開催日…会長と候補日を選定し、決定 ・開催時間…午後6時30分からとする。 協議時間は議題により異なるが、おおむね1時間程度 ○学習会や先進地域への研修視察 【前期での実績（平成28年度～令和元年度）】 ・陸上自衛隊高田駐屯地を視察（平成28年11月21日） ・西ヶ窪浜海岸を視察（平成30年8月10日） 【今期の実績（令和2年度～）】 ・なし ○委員の発言状況 発言回数に差はあるが、おおむね全委員が発言されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・委員が会議に参加しやすくなるような、開催日時や回数の柔軟な設定 ・必要に応じて日を改めて協議を行うなど、議論が深まるような運用 ・自主的審議事項等の議論がより一層深まるよう、議論に必要な情報を得るための視察や研修の積極的な実施 ・会議の進行を担う会長が全ての委員へ発言を求めるなど、多くの委員に発言の機会を設けるような配慮 ・分科会やグループワーク等、小規模な話合いの場を適宜設けるなど、委員が発言しやすい雰囲気づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・開催日…なるべく多くの委員が出席できるよう会議の中で、次回開催日について協議又は連絡する。 ・学習会…コロナ禍も鑑みながら、区内も含め年1回は視察（現地視察）を実施する。 ・発言等…テーマ・内容にもよるが、全員の意見を確認する。 ・自主的審議事項等…委員が把握している地域課題について年1回程度意見交換を行う。
ウ 情報の発信について	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民等から協議会の活動に関心を持ってもらうために「地域協議会だより」を工夫し委員の声を載せ、より親しみのある内容にしていく。 ・各地域の取り組み等を定期的に「地域協議会だより」として回覧板でも良いので多数発行し、活動内容を理解してもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域協議会だよりの編集・発行 年3回程度、地域協議会での審議結果等について事務局が編集、原稿を作成している。全戸配布するとともに市HPに掲載。 【令和2年度の実績（3回発行）】 ・第37号：委員紹介、会議開催報告、地域活動支援事業採択結果、追加募集周知 ・第38号：追加募集採択結果、会議開催報告、傍聴啓発 ・第39号：地域活動支援事業募集説明会の周知、会議開催報告、傍聴啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会の活動に市民から関心を寄せただけのように、地域協議会だよりに委員の声や自主的審議の進捗状況等を掲載するなどの工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・たより…八千浦交流館はまぐみ（スポーツハウスはまぐみにも）に掲示する。その他の施設への掲示も検討・依頼する（駅や郵便局など）。